

アーティスト・イン・レジデンスさいたま 事業実施アーティスト決定 「小林企画」、「荒悠平たち」が さいたま市で滞在制作を行います

アートカウンシルさいたまでは、さいたま市内で滞在・制作・公開を行うアーティスト・イン・レジデンスさいたま事業を実施します。さいたま市の特色ある文化資源を活用し、その魅力を国内外に発信、地域の活性化につなげることを目的に、滞在・制作・公開を行うアーティストや文化芸術団体等を対象に企画提案を募りました。美術や演劇、古典芸能などの分野を横断した多様な表現の担い手から応募をいただきました。審査を行った結果、「小林企画」、「荒悠平たち」の2団体を選定しました。

選定した2団体は、一定期間さいたま市内に滞在し、作品の制作と試演を行います。滞在制作場所は、さいたま市岩槻区にあるオルタナティブスペース「space845」と、同区「NPO法人アート応援隊 浦和学院高校岩槻校舎」です。滞在制作期間の後期には、市内での試演会も開催いたします。新進気鋭のアーティストが、さいたまで生み出す新たな表現をぜひご高覧ください。



▲小林遼氏



▲荒悠平氏

開催概要

滞在制作期間

- ・小林企画：1月17日（金）～3月9日（日）のうち17日間程度
- ・荒悠平たち：2月22日（土）～3月6日（木）のうち13日間程度

試演日程

決定次第、アートカウンシルさいたまWEBサイト（https://saitama-culture.jp/artists_decided/）等でお知らせします

滞在制作場所

- ・滞場所：space845（埼玉県さいたま市岩槻区大口639-1）
- ・制作場所：NPO法人アート応援隊 浦和学院高校岩槻校舎（埼玉県さいたま市岩槻区飯塚50番地）

主催：アートカウンシルさいたま

※滞在制作所や試演の見学、取材については事前にアートカウンシルさいたままでお問い合わせください。

TEL：048-767-5350（火～土 9:00～17:00、日・月・祝日休み、月曜日が祝日の場合、火曜日も休み）

メールアドレス：artscouncil@saitama-culture.jp

アーティストのプロフィールと企画概要－小林企画

代表 小林遼（こばやし りょう）

プロフィール

1991年愛知県生まれ。精神科医/演出家。卒業後、英国で応用演劇を学び、青年団に所属する。観客と演者の関係性について問う参加型の演出や、ツアー型のパフォーマンスを創作する。ワークショップファシリテーターとしても活動し、ヘルスプロモーション、教育、地域社会と演劇の交点を探求している。近年は豊岡演劇祭フリンジ、Klang River Festival(マレーシア)、隅田川 森羅万象 墨に夢、横浜国際舞台芸術ミーティング2024などのアートプロジェクトに参加。

企画概要

企画名：“夜騎開封”さいたま←→鄭州

概要：“夜騎開封”とは、さいたま市の友好都市である中国鄭州で近年若者層の間でさかんになっている、夜間自転車に乗り、鄭州から近接都市開封までサイクリングをしながら名物の肉饅を食べるというツーリングイベント。当イベントおよび鄭州市と友好都市であるさいたま市の関係をテーマとした、映像化とツアー型パフォーマンス（参加者による専用自転車走行）を実施予定。

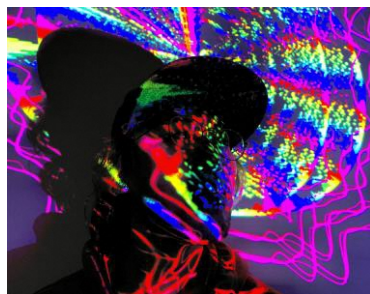
試演概要

決定次第、アーツカウンシルさいたまWEBサイト等でお知らせします

制作・協力アーティスト

志村 翔太（しむら しょうた）

1993年生まれ。神奈川県川崎市出身。世界旅行、事業開発を経て、IAMAS（情報科学芸術大学院大学）博士前期課程に在籍。場所の“ナラティブ”と“モビリティ”をテーマに、AIやAR、映像メディアなどのテクノロジーを活用した、オルタナティブな文学表現の可能性を追求している。主な展覧会に「ATAMI ART GRANT 2024」（2024年）、「六本木アートナイト」（2023年）など。



涌田 悠（わくた はるか）

短歌を詠むダンサー / 振付家。振付家として、“からだと世界の触れ合うところに生まれる言葉と踊りの関係性”に興味を持ち、2014年より自作短歌と共に踊る作品〈短歌deダンスシリーズ〉を国内外で発表。近年は異ジャンルアーティストと協同して行う街歩きリサーチによる創作に力を入れ自主企画を展開する他、からだと言葉を使った街歩きWSを開催。歌人として、【第四回笹井宏之賞】大森静佳賞受賞。haruka-wakuta.com



©加藤南

アーティストのプロフィールと企画概要 – 荒悠平たち

代表 荒悠平（あら ゆうへい）

プロフィール

2010年頃よりコンテンポラリーダンスの舞台出演を中心にアーティスト活動を開始。〈まことクラヴ〉〈Co.山田うん〉〈カンパニーデラシネラ〉〈ケムリ研究室〉等、他にも出演多数。2017年頃よりソロや他ジャンルアーティストとの共同制作に主軸を移し、彫刻家・大石麻央の作品を着た400才のサメになるパフォーマンス、フレットレスベース奏者・織原良次とのユニットfloor girlとのデュオ、ジャズ系のミュージシャンとのライブパフォーマンス、演劇の作演出など、活動を広く展開している。

団体プロフィール

ダンス・演劇・音楽・パフォーマンスなど多ジャンルに渡る荒悠平の活動を複数人で継続的に展開するプロデュースユニット。2023年から活動を開始。2024年からひとつの戯曲を四話連続でアンソロジー上演するプロジェクトを継続中。「人が集まって何かを作ってみんな楽しい」というコンセプトを掲げている。

企画概要

企画名：メガネってどうしてよごれるんだろう組曲（仮）

概要：日常思うけれど言葉にしない程度の思考をモチーフに、バンドセットと演劇を組み合わせたライブパフォーマンス。このような日常の小さな題材をどのように作品化するかのワークショップも実施予定。

試演概要

決定次第、アーツカウンシルさいたまWEBサイト等でお知らせします



滞在制作場所について

space845

概要

2021年夏にオープンしたスペース。Hasikko-Labが「はしっこ」からオルタナティブをコンセプトの軸として運営を行う。さいたま市岩槻区のはしっこ、普段は目を向けられない場所で生まれる人の営みに着目した活動を目指す。アーティストの作品展示や滞在制作などを行っている。

アクセス

住所：埼玉県さいたま市岩槻区大口 6 3 9 - 1

NPO法人アート応援隊 浦和学院高校岩槻校舎

概要

自由な創造力をもつ若い世代の文化・芸術活動を応援することを目的に設立されたNPOアート応援隊が運営する施設。学校跡地を活用し、ワークショップや講座に貸し出しを行っている。

※一般への貸し出しは行っていません。

アクセス

住所：埼玉県さいたま市岩槻区飯塚 5 0 番地

本事業に関するお問い合わせ

アーツカウンシルさいたま

〒336-0024 さいたま市南区根岸1-7-1 さいたま市文化センター4階

TEL：048-767-5350（火～土 9:00～17:00、日・月・祝日休み、月曜日が祝日の場合、火曜日も休み）

メールアドレス：artscouncil@saitama-culture.jp

アーツカウンシルさいたまについて



アーツカウンシルさいたまでは、あらゆる人に文化芸術を創造・享受する機会を提供し、心豊かに生活できるまちを創出することを目指し、「暮らしの中で文化芸術と触れ合う機会の増加」「文化芸術の新たな創造環境の創出」「文化芸術を通じて、将来のさいたま市を考える」ことに取り組んでいます。